

農業支援プロジェクトの一環で育てられた 「げんき米」が収穫されました。

医療法人社団 健育会 理事長 竹川 節男



水田オーナーズクラブにある「健育会ファーム」から今年も新米が届き、病院・施設で患者さん、ご利用者に召し上がっていただきました。

水田オーナーズクラブは、日本の農業を守り、地域の活性化に貢献し次世代に引き継ぐことを目的とし「田舎に暮らす生産者と、都会の企業が手を組んで命豊かな水田を守る」活動を行っている団体です。

私はその理念に共感し2016年に水田オーナーズクラブに加入、自然豊かな鳥取県奥大山にある日南町に健育会ファームを設立し、以来毎年コシヒカリ栽培を行なってきました。このお米を食べて、患者さん、ご利用者に元気になってもらいたいという思いから「げんき米」と名付けました。

その「げんき米」が今年も無事に実り、各病院・施設に届きました。



今年は猛暑のため、水管理が例年以上に大変な年だったようで、また全国的にお米不足が騒がれているなかで、早刈りはせず、稲穂の熟成を見て例年通り品質が良いコシヒカリが収穫されました。

各病院・施設では、この「げんき米」を使って行事食として提供しており、患者さん、ご利用者にも「げんき米」を知っていただく機会にしております。



なかには、お米の味をそのまま味わっていただくためにあえておにぎりで提供している施設もあります。



皆さん、お米がいつもと違うことに気が付いてくださり、「美味しい」「もっと食べたい」というお声をたくさんいただきました。



患者さん、ご利用者が元気になれるよう、また来年も美味しい「げんき米」を皆さんにお届けできるようにしたいと思います。